学校収蔵民具の再発見事業 II

2019

はじめに

近年、文化財の保存とともにその活用が問われるようになってきました。

学校に収蔵されている民具は、学芸員や研究者が恣意的に収集したものではなく、地域の人たちが自分たちの暮らしの中で伝えたいものを、地域の中心である小学校に持ち寄ったものです。

これらは、地域の歴史を語る資料として教育現場で活用されていることもあります。

当委員会は、地域の文化遺産としての民具の活用を促進し、地域教育および地域活動の資源として再発見していただくため、平成29年度より文化庁の文化遺産総合活用推進事業「学校収蔵民具の再発見事業」として、パネル展を開催しました。

この展示を通じて、地域の学校に集めて保存し、さらに教育現場での教材として利用されてきた民具資料などを紹介することによって、地域で文化財の保存と活用がさらに展開されることを期待しています。

これまで保存に努められてきた地域の方々に敬意を表し、お礼申し上げます。

学校収蔵民具の再発見事業実行委員会

委員長　用田　政晴

目次

はじめに

目次

１．学校で収蔵している民具（生活資料）アンケート

学校で収蔵している民具（生活資料）アンケート …… 4

アンケート様式 …… 7

アンケート結果 …… 9

２．京都市の小学校が伝える生活資料

京都市の小学校が伝える生活資料 …… 16

番組小学校とは …… 17

京都市内の番組小学校 …… 18

下京区の番組小学校 …… 19

番組小学校一覧 …… 20

学校たんけん …… 22

学校民具の活用 …… 27

３．資料

展示チラシ …… 30

展示の記録 …… 34

学校収蔵民具の再発見事業実行委員会　規約 …… 39

展示スタッフ

表紙写真：山階小学校（山科区）

１．学校で収蔵している民具（生活資料）アンケート

学校で収蔵している民具（生活資料）アンケート

これまでの経緯

学校収蔵民具の再発見事業実行委員会では、平成 29 年度より文化庁の文化遺産総合活用推進事業の助成を受け、「学校収蔵民具の再発見事業」[1]として、京都市内の市立小学校が収集し保管、活用してきた地域の文化遺産である生活資料（以下、「民具」とする）に焦点を当て、その再発見を目的とした普及啓発活動を行ってきました[2]。

そのなかで、かつて熱心な地域の方々の呼びかけで民具等の収集が行われた元安寧小学校（下京区）の収蔵状況をクローズアップし、下京区総合庁舎で収蔵資料のパネル展示を開催しました。また、平成 19 年（2007)、左京区役所の事業である「左京区大学と地域の相互交流促進事業」において、京都造形芸術大学が行った左京区の小学校の民具収蔵状況の調査をもとに、その後の状況を含めて紹介したパネル展を左京区総合庁舎で開催しました。

アンケートの概要

今年度は、その左京区を対象とした取り組みを京都市全域に広げ、京都市立の小学校全 165 校[3]の収蔵している民具について紹介するパネル展を開催しました。これにより京都市域の小学校全体の収蔵民具の状況を知るうえで大変有意義なものだったと考えます。

そのための各小学校へのアンケートを、9 月 27 日に発送しています。締め切りは 10 月 26 日に設定し、当委員会宛に返信してもらうようにしました。

アンケートの内容は後に紹介しますが、設問は「その他」を含めて 11 項目とし、収蔵状況、活用、今後の収蔵方針などについてお答えいただきました。特に「９．当委員会のメンバーが訪問し、無償で写真撮影など調査して一覧表を作ることを提案させて頂いた場合、ご協力いただけますか」の設問は、各学校との今後の連携を含め、将来的な方針について提起したつもりです。

アンケートは 165 校の約半数にあたる 78 校から回答をいただきました。また、左京区

の小学校[4]には前年度にアンケートを実施し、下京区や中京区、山科区の一部の小学校には、今回のアンケート実施以前から状況をお聞きしていましたので、半数以上の小学校の民具収蔵状況が確認できたといえます。

アンケート結果

アンケートの結果で目を引くのが、78 校中 61 校で「民具が収蔵されている」と回答があったことでした。回答のうち 78％に及ぶ多くの小学校が民具を収蔵していることがわかりました。また、収蔵場所の質問では、43 校（55％）に「郷土資料室」などの展示室や、廊下などでの常設展示がみられます。

活用状況を見ると、授業で使われているのが 46 校（59％）と多く、これらは主に 3 年生の社会科の授業で活用されています。一方、「特にしていない」との回答は少数でした。

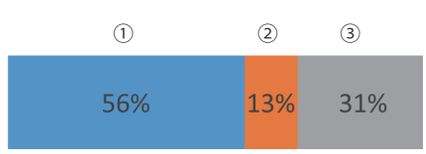
収蔵している点数は、10 ～ 50 点までと答えた小学校が最も多く 36 校（46％）でした。少数ではあるものの 200 点以上収蔵している小学校もありました。

収蔵している民具の一覧については、「必要ではあると思うが、また作っていない」が多く、以前から小学校で所蔵されていて気になっているが、なかなか時間的な余裕がないという先生方のご苦労がわかりました。

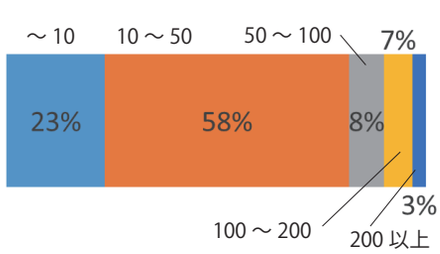
「生活資料についての詳しい方」についての設問は、「収集に関わった人、詳しい人、担当者はいない」が 45 校（58％）でした。異動がある先生方にとって、収集当時のことや、収集の意図、資料のいわれなどを知ることは難しいと思います。そのような中、「収集に関わった人が地域にいる」がいると回答された小学校が 8 校（10％）ありました。また、「収集には関わっていないが、詳しい人がいる」と回答された小学校が 4 校（5％）あり、いずれも「地域の方」と回答され

設問 1. 民具の有無

設問 3. 収蔵場所



設問 6. 点数について



ていました。収集の時代にもよりますが、地域の方々が中心となって収集されたり、民具について詳しい方がいたりすると、それらの情報が永く伝わっていくことになります。民具は、名称とともに誰が、何を、いつ、どこで、何のために、どう使ったのか、いわゆる５Ｗ１Ｈの情報が伴っていることに意味があります。ぜひ、地域の方々とともに伝えていっていただければと思います。

むすびに

今回のアンケートをきっかけに、展示に協力してほしいという要望をいただいた小学校もあり、当委員会にとっても大変喜ばしいことでした。また、アンケート後、いくつかの小学校の先生にお話をお聞きする機会がありましたが、民具や郷土史などに熱心な先生が赴任されたことで、充実した郷土資料室ができたということも知りました。

今回、アンケートを実施し、多くの情報を得ることができました。お忙しい中、ご協力いただきました各小学校様には心よりお礼申し上げます。

---

(1) 文化庁の文化芸術振興費補助金（文化遺産総合活用推進事業）の助成を受けて実施する「京都の文化遺産総合活用推進事業」の一部として活動しています。

(2) 平成 29 年度の活動については、『学校収蔵民具の再発見事業』（学校収蔵民具の再発見事業実行委員会編・発行、2018 年 3 月）に概要を掲載しています。また、伊達仁美「京都市内の小学校に残る生活資料」（『京都市文化観光資源保護財団会報』124 号、2019 年 3 月）にも、活動が紹介されています。

(3) 京都市立の小学校 159 校に加え、小中一貫校 6 校を加えた 165 校。

(4) 左京区の小学校 19 校と小中一貫校 2 校。

学校名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
ご記入者　役職＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
　　ご芳名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

民具（生活資料）についてのアンケート

１．民具の所蔵の有無
　①ある　　②ない　　③わからない
「②ない」「③わからない」とお答えになった方はこれで終了です。ありがとうございました。

以下は、１の質問で「①ある」とお答えされた方にお聞きします。あてはまる番号に〇をつけてください。

２．収集について
　①テーマを持って収集した／したらしい（テーマ：　　）
　②特にテーマはない
　③テーマは知らない／聞いていない。

３．収蔵場所について
　①空き教室などを利用し、展示や収蔵をしている専用の場所がある。
　　（部屋の呼び名：　　）
　②誰でも見られる場所（廊下やホールなど）にある。
　③倉庫の一角に、教材や書類、その他の用具とともに収蔵している。

４．収蔵方法について
　①棚に並べるなど、見やすいように展示している。
　②展示しているものと、かためて収蔵しているものがある。
　③展示というより、場所をとらないようにかためて収蔵している。

５．活用について
　①活用は特にしていない
　②普段は見られないが、校内で希望者があれば、特別に見せている。
　③普段から、誰でも見られる場所にあり、休憩時間などに見る機会がある。
　④授業で教材として利用するなどしている。
　　（授業名・科目名：　　）（対学年など：　　）
　⑤学校行事などで活用している
　　（行事名：　　）（対象学年など：　　）
　⑥学校外の人でも、希望者に公開している。
　　（条件など：　　）

６．点数はどのくらいありますか。だいたいで結構です。
　①１０点以内
　②１０～５０点

アンケート様式１

③５０～１００点
④１００～２００点
⑤２００点以上

７．民具の写真や名前の一覧表について
①１点ごとの写真付きの一覧表がある。
②１点ごとの写真は撮影してある。
③写真はないが、一覧表は作成してある。
④一覧表の作成は必要であると思うが、まだ作っていない。
⑤一覧表などの必要性は感じていない。

８．ご所蔵の民具について、詳しい方について
①収集に関わった人が、学校にいる
（役職・お名前：　　）
②収集に関わった人が、地域にいる
（役職・お名前：　　）
③収集に関わっていないが、詳しい人がいる
（役職・お名前：　　）
④詳しくはないが、学校に管理などの担当者がいる
（役職・お名前：　　）
⑤収集に関わった人、詳しい人、担当者はいない

９．当会のメンバーが訪問し、無償で写真撮影など調査をして一覧表を作ることを提案させて頂いた場合、ご協力いただけますか。
①予算はないが、一緒に作業して、作成したい。
②授業とからめて作成したいので、指導しにきてほしい。
③無償でお任せできるのであれば、協力したい。
④現在、整理作業にかかっており、申し出は不要である。
⑤一覧表は不要であり、協力できない。

10．今後の展望について
①１点ごとの情報を深めて、より活用をしていきたい。
②もっと収集して、充実させたい。
③このままでよい。
④じゃまなので、処分してしまいたい。

11．その他（課題や悩みなど）

学校収蔵民具の再発見事業実行委員会

アンケート様式２

アンケート結果（北区・上京区）

区	小学校名	1.民具所蔵の有無 ①ある ②ない ③わからない	2.収集について ①テーマあり ②なし ③わからない	3.収蔵場所について ①展示、収蔵 ②空き教室で展示 ③誰でも見られる場所 倉庫に収蔵	4.収蔵方法について ①棚などに展示 ②展示と収蔵 ③かためて収蔵	5.活用について ①特になし ②校内の希望者 ③誰でも ④授業で教材 ⑤学校で活用 ⑥学外でも希望者に公開	6.点数 ①10点以内 ②10～50点 ③50～100点 ④100～200点 ⑤200点以上	7.民具の写真や名前の一覧表について ①写真付一覧表あり ②写真はあり ③一覧表はあるが、一覧表の写真はあると思うが、まだなし ④必要性なし ⑤必要性なし	8.ご所蔵の民具に詳しい方について ①収集に関わった人が学校にいる ②収集に関わった人が、地域にいる ③詳しい人がいる ④管理などの担当者がいる ⑤いない	9.ご協力について ①一覧表を作成したい ②指導してほしい ③無償でおせでおれば、協力したい ④整理作業中であり、申出は不要であり、協力できない ⑤一覧表は不要	10.今後の展望について ①1点ごとの情報を深め、活用したい ②もっと収集して、充実させたい ③このままでよい ④じゃまなので、処分してしまいたい
北区	元町小学校										
	上賀茂小学校										
	柊野小学校										
	大宮小学校										
	待鳳小学校	①	③	①郷土資料室	②	①	②	④	⑤	③	③
	鳳徳小学校										
	紫竹小学校	①	②	①昔の道具室	②	④社会・昔をつたえるもの・3年	②	④	⑤	④	①
	鷹峯小学校										
	紫明小学校										
	紫野小学校	②									
	柏野小学校										
	楽只小学校										
	衣笠小学校										
	金閣小学校										
	大将軍小学校	①	③	③	③	④社会・昔の道具調べ・3年	①	④	⑤	―	③
上京区	室町小学校										
	京極小学校										
	新町小学校	①	②	③	③	③	①	⑤	⑤	③	③
	西陣中央小学校										
	乾隆小学校										
	翔鸞小学校	①	①西陣織に関するもの	①	①	④社会・昔の生活に関するもの・3年・⑤社会・総合的な学習・3～6年・⑥	⑤	③	①・②・③	①	①
	仁和小学校	①	②	①歴史資料室	①	②・④社会・3年	④	⑤	⑤	⑤	③
	正親小学校										
	二条城北小学校										

アンケート結果（左京区・中京区・東山区）

区	小学校名	1.民具所蔵の有無 ①ある ②ない ③わからない	2.収集について ①テーマあり ②なし ③わからない	3.収蔵場所について ①空き教室で展示、収蔵 ②誰でも見られる場所 ③倉庫に収蔵	4.収蔵方法について ①棚などに展示 ②展示と収蔵 ③かためて収蔵	5.活用について ①特になし ②校内の希望者 ③誰でも ④授業で教材 ⑤学校行事で活用 ⑥外でも希望者に公開	6.点数 ①10点以内 ②10～50点 ③50～100点 ④100～200点 ⑤200点以上	7.民具の写真や名前の一覧表について ①写真付一覧表あり ②写真はないが、一覧表はあり ③必要であると思うが、まだなし ④必要性なし ⑤	8.ご所蔵の民具に詳しい方について ①収集に関わった人が学校にいる ②収集に関わった人が、地域にいる ③詳しい人がいる ④管理などの担当者がいる ⑤いない	9.ご協力について ①一覧表を作成したい ②指導してほしい ③無償で整理おせたい ④整理作業中であれば、協力したい ⑤一覧表は不要であり、申出は不要であり、協力できない	10.今後の展望について ①1点ごとの情報を深め、活用したい ②もっと収集して、充実させたい ③このままでよい ④じゃまなので、処分してしまいたい
左京区	明徳小学校	①	①岩倉にわかる地域のもの	①小さな博物館	①	②・④総合、社会・⑥	②	③	②	③	③
	岩倉南小学校	①	①昔の道具	②	③	④社会・3年	②	④	②	③	①
	岩倉北小学校	①	①昔の道具	①ふるさと館	①	②・④社会・3年	④	④	⑤	③	③
	八瀬小学校	①	①米作り、それ以外もあり	②・③	②	③・④生活、社会・2年、3年	②	④	⑤	③	③
	市原野小学校										
	静原小学校										
	鞍馬小学校	①	③	②	①	③	②	⑤	⑤	⑤	③
	錦林小学校										
	第三錦林小学校										
	第四錦林小学校	①	③	③	③	④社会・3年	①	④	⑤	③	③
	北白川小学校	②									
	養正小学校	①	③	③	③	④社会、総合・3年～6年	①	④	⑤	③	③
	養徳小学校	①	③	①	①	④社会・3年、6年	③	④	⑤	③	③
	下鴨小学校	①	③	③	③	④社会・3年	①	④	⑤	③	③
	葵小学校	①	②	③	③	④社会・3年	②	⑤	⑤	⑤	③
	修学院小学校										
	上高野小学校	①	①郷土資料（農具）	①郷土資料室	②	④生活・総合的な学習・2年、5年	②	④	⑤	④	③
	修学院第二小学校										
	松ヶ崎小学校										
	花背小中学校	①	②	②	①	①	①	⑤	⑤	―	③
	大原小中学校										
中京区	御所東小学校										
	御所南小学校										
	高倉小学校										
	洛中小学校	②									
	朱雀第一小学校										
	朱雀第二小学校	②									
	朱雀第三小学校										
	朱雀第四小学校	②									
	朱雀第六小学校										
	朱雀第七小学校	①	③	①資料室	③	④社会・3年	②	④	⑤	③	③
	朱雀第八小学校	①	②	③	③	④社会・3年	②	④	⑤	③	①・③
東山区	開睛小中学校	②									
	東山泉小中学校	①	③	③	③	③	②	④	⑤	③	①

アンケート結果（山科区・下京区・南区）

区	小学校名	1.民具所蔵の有無 ①ある ②ない ③わからない	2.収集についてテーマあり ① ②なし ③わからない	3.収蔵場所について空き教室で展示、収蔵 ① ②誰でも見られる場所 ③倉庫に収蔵	4.収蔵方法などについて棚に展示 ① ②展示と収蔵 ③かためて収蔵	5.活用について特になし ① ③誰でもになし ④授業で教材 ②校内の希望者 ⑤学校行事で活用 ⑥学外でも希望者に公開	6.点数 ①10点以内 ②10～50点 ③50～100点 ④100～200点 ⑤200点以上	7.民具の写真や名前の一覧表について ①写真付一覧表あり ②写真はあり ③写真はないが、一覧表はあり ④必要ではあると思うが、まだなし ⑤必要性なし	8.ご所蔵の民具に詳しい方について ①収集に関わった人が学校にいる ②収集に関わった人が、地域にいる ③詳しい人がいる ④管理などの担当者がいる ⑤いない	9.ご協力について ①一覧表を作成したい ②指導してほしい ③無償でお任せでいれば、協力したい ④整理作業であり、申出は不要 ⑤一覧表は不要であり、協力できない	10.今後の展望について ①1点ごとの情報を深め、活用したい ②もっと収集して、充実させたい ③このままでよい ④じゃままなので、処分してしまいたい
山科区	山階小学校	①	②	①郷土資料室	②・③	①・②・④社会・昔のくらしを伝えるもの・⑥	―	④	②・④	―	―
	西野小学校										
	山階南小学校	①	②	①	③	④社会・3年	②	④	⑤	③	①
	安朱小学校	①	②	③	③	②	①	④	⑤	③	③
	鏡山小学校	①	③	①郷土資料室	③	④社会・3年	②	⑤	③	③	①
	陵ヶ岡小学校	②									
	音羽小学校	①	①	①ふるさとルーム	①・②	④社会・3年、ふるさとクラブ・4～6年・⑤ふれあい広場・⑥	②	―	②	―	―
	音羽川小学校										
	大塚小学校										
	勧修小学校										
	小野小学校										
	百々小学校										
	大宅小学校										
下京区	洛央小学校	①	③	③	③	①	②	―	―	―	―
	下京渉成小学校	②									
	下京雅小学校	②									
	梅小路小学校										
	光徳小学校	①	①光徳の遺物、むかしの道具	①多目的室・②	①	③・④社会・3年、6年・⑥校区在住者	③	④	②	③	①
	七条小学校										
	西大路小学校	①	③	②・③	②	③・④社会、総合	②	⑤	⑤	③	③
	七条第三小学校										
南区	九条弘道小学校	①	①昔のくらし	①郷土資料室	②	④社会・昔をつたえるもの・3年	②	④	⑤	③	①
	九条塔南小学校										
	南大内小学校	①	②	①歴史資料室	②	②・④生活・昔の道具・3年・⑥	②	④	②	④	②
	唐橋小学校										
	吉祥院小学校	①	③	③	③	②	①	⑤	⑤	③	①
	祥栄小学校										
	祥豊小学校	①	③	①児童会室	③	③	①	④	⑤	④	②・③
	上鳥羽小学校	①	①昔の道具	①郷土資料室	①	④社会・3年・⑤脱穀・5年	③	④	③	③	①
	大藪小学校	①	②	①郷土資料室	①	④社会・昔を伝えるもの・3年	②	④	⑤	③	③
	久世西小学校	②									
	凌風小中学校	①	②	①	②	④社会・3年	⑤	⑤	⑤	⑤	③

アンケート結果（右京区・西京区）

区	小学校名	1.民具所蔵の有無 ①ある　②ない ③わからない	2.収集について ①テーマあり　②なし ③わからない	3.収蔵場所について ①空き教室で展示、収蔵 ②誰でも見られる場所 ③倉庫に収蔵	4.収蔵方法について ①棚などに展示 ②展示と収蔵 ③かためて収蔵	5.活用について ①特になし ②校内の希望者 ③誰でも ④授業で教材 ⑤学校行事で活用 ⑥学外でも希望者に公開	6.点数 ①10点以内　②10～50点 ③50～100点 ④100～200点　⑤200点以上	7.民具の写真や名前の一覧表について ①写真付一覧表あり ②写真はあり ③一覧表はあり ④写真はないが、一覧表は必要であると思うが、まだなし ⑤必要性なし	8.ご所蔵の民具に詳しい方について ①収集に関わった人が学校にいる ②収集に関わった人が、地域にいる ③詳しい人がいる ④管理などの担当者がいる ⑤いない	9.ご協力について ①一覧表を作成したい ②指導してほしい ③無償でおお任せであれば、協力したい ④整理作業中であり、申出は不要 ⑤一覧表は不要であり、協力できない	10.今後の展望について ①1点ごとの情報を深め、活用したい ②もっと収集して、充実させたい ③このままでよい ④じゃまなので、処分してしまいたい
右京区	嵯峨小学校										
	広沢小学校	①	③	①郷土資料室	②	④社会・昔のくらし・3年	②	④	―	③	③
	嵐山小学校										
	常磐野小学校	①	③	①資料室	②	④昔のくらし・3年	②	④	⑤	―	③
	嵯峨野小学校										
	御室小学校	①	②	③	③	④昔のくらし・3年	①	④	⑤	④	①
	宇多野小学校										
	花園小学校										
	高雄小学校										
	京北第一小学校										
	京北第二小学校										
	京北第三小学校										
	太秦小学校	①	③	①みどりルーム	③	④昔のくらし・3年	①	④	⑤	③	③
	南太秦小学校										
	安井小学校	①	②	③	③	④社会・地域や生活のうつり変わり・3年	③	④	⑤	③	①
	西院小学校	①	③	②	②	③	②	④	⑤	③	①
	山ノ内小学校										
	梅津小学校	①	③	③	③	④社会・3年	①	④	⑤	③	①
	梅津北小学校	①	③	③	③	④社会・3年	②	―	―	―	―
	西京極小学校	①	②	②	②	③	②	④	⑤	④	①
	西京極西小学校										
	葛野小学校										
	宕陰小中学校										
西京区	川岡小学校										
	川岡東小学校										
	樫原小学校	①	①校区の昔	①郷土資料室	①	④社会・3年	③	④	⑤	③	①
	松尾小学校	①	①昔の道具	③PTA室	③	④社会・3年	②	④	⑤	④	③
	嵐山東小学校										
	松陽小学校										
	桂小学校	①	②	①郷土資料室	②	④国語、社会・5年、3～4年	②	⑤	⑤	④	③
	桂徳小学校										
	桂川小学校	②									
	桂東小学校										
	大枝小学校										
	桂坂小学校										
	新林小学校										
	境谷小学校										
	竹の里小学校										
	上里小学校										
	福西小学校	②									
	大原野小学校										

アンケート結果（伏見区）

区	小学校名	1. 民具所蔵の有無 ①ある ②ない ③わからない	2. 収集についてテーマあり ① ②なし ③わからない	3. 収蔵場所について ①空き教室で展示、収蔵 ②誰でも見られる場所 ③倉庫に収蔵	4. 収蔵方法について ①棚などに展示 ②収蔵と展示 ③かためて収蔵	5. 活用について ①特になし ②校内の希望者 ③誰でも ④授業で教材 ⑤学校で活用 ⑥学外でも希望者に公開	6. 点数 ①10点以内 ②10～50点 ③50～100点 ④100～200点 ⑤200点以上	7. 民具の写真や名前の一覧表について ①写真付一覧表あり ③写真の写真はあり ④一覧表はあるが、一覧表はない ⑤必要性なし	8. ご所蔵の民具に詳しい方について ①収集に関わった人が学校にいる ②収集に関わった人が、地域にいる ③詳しい人がいる ④管理などの担当者がいる ⑤いない	9. ご協力について ①一覧表を作成したい ②無償で指導してほしい ③整理作業でお任せであれば、協力したい ④一覧表は不要であり、申出は不要 ⑤協力できない	10. 今後の展望について ①1点ごと情報を深め、活用したい ②もっと収集して、充実させたい ③このままでよい ④じゃまなので、処分してしまいたい
伏見区	深草小学校										
	稲荷小学校	②									
	藤ノ森小学校	①	②	①社会科資料室	①	②	②	④	⑤	③	①
	藤城小学校	①	①昔のくらし	①生活科ルーム	②	④社会・3年	②	④	②	③	③
	砂川小学校	②									
	竹田小学校	①	②	①資料室	③	①	②	⑤	⑤	④	①
	桃山小学校	①	②	③	③	④社会・4年	①	⑤	⑤	③	②
	桃山東小学校	②									
	桃山南小学校	①	③	①郷土資料室	①	④昔のくらし・3年	②	⑤	⑤	④	③
	醍醐小学校										
	小栗栖小学校										
	小栗栖宮山小学校										
	池田小学校	①	②	①展示室	①	④国語、社会・3年	②	④	⑤	③	③
	池田東小学校										
	春日野小学校	①	③	①	③	①	②	⑤	⑤	③	③
	日野小学校	①	①昔の道具	③	ー	④昔の道具・3年	②	④	③	③	②
	石田小学校	①	③	①郷土資料室	①	②・④社会・3年	②	⑤	④	⑤	③
	醍醐西小学校	②									
	北醍醐小学校	②									
	伏見板橋小学校										
	伏見南浜小学校	①	③	①	③	④生活、社会・2年、3年	①	②	⑤	③	③
	伏見住吉小学校										
	下鳥羽小学校										
	横大路小学校										
	納所小学校										
	向島小学校	①	①おぐら池	①	①	④社会、総合・3年、4年	④	④	⑤	③	③
	向島藤の木小学校										
	向島南小学校										
	向島二の丸小学校										
	神川小学校										
	久我の杜小学校	①	③	①郷土資料室	①	④社会、・昔を伝えるもの・3年	②	⑤	④	③	③
	羽束師小学校										
	明親小学校	①	①淀、昔のくらし	①郷土資料室	②	②	④	④	⑤	③	①
	美豆小学校										

２．京都市の小学校が伝える生活資料

京都市の小学校が伝える生活資料

明治政府は、明治５年（1872）の学制公布によって、近代教育制度を推進しました。京都では、それに先立つ明治２年（1869)、町衆たちの寄付等によって、地域の全ての子供たちが通う小学校が64校開校しています。室町時代からの町組をおよそ三条通りを境に北を「上京」、南を「下京」に分け、それぞれの町組には、「上京〇番組」、「下京〇番組」という番号が付与されました。その番組と呼ばれた町組ごとに小学校が設置されたことから、番組小学校と呼ばれたのです。2019年は、その番組小学校創設150周年にあたります。

番組小学校が設置されたのは京都の中心部、現在の上京区・中京区・下京区・東山区・左京区の一部の地域です。その後、少子化などの影響で統廃合が進み、その跡地は、京都市学校歴史博物館（下京第11番組小学校の開智校)、京都国際マンガミュージアム（上京第25番組小学校の龍池校)、漢字ミュージアム（下京第33番組小学校の弥栄校）などに活用されています。150年前、町衆たちの協力のもとで発足した64校の小学校は、現在では160校を超える学校につながっているのです。

その約160校の小学校に対し、民具の収蔵の有無や授業での活用、収蔵状況など、多岐にわたる視点からアンケートを実施しました。全校から回答を得たわけではありませんが、多くの小学校が民具を収蔵し、授業で活用されていることがわかりました。また、収蔵状況の改善や、資料整理、リストの作成などの協力も希望されています。

今回のパネル展では、明治以来の伝統の中で京都市内の小学校がそれぞれで民具をはじめとする歴史資料を収集し、保存し、展示されてきたこと、さらには教科教育のなかで活用されてきた状況などをさまざまな視点から紹介します。

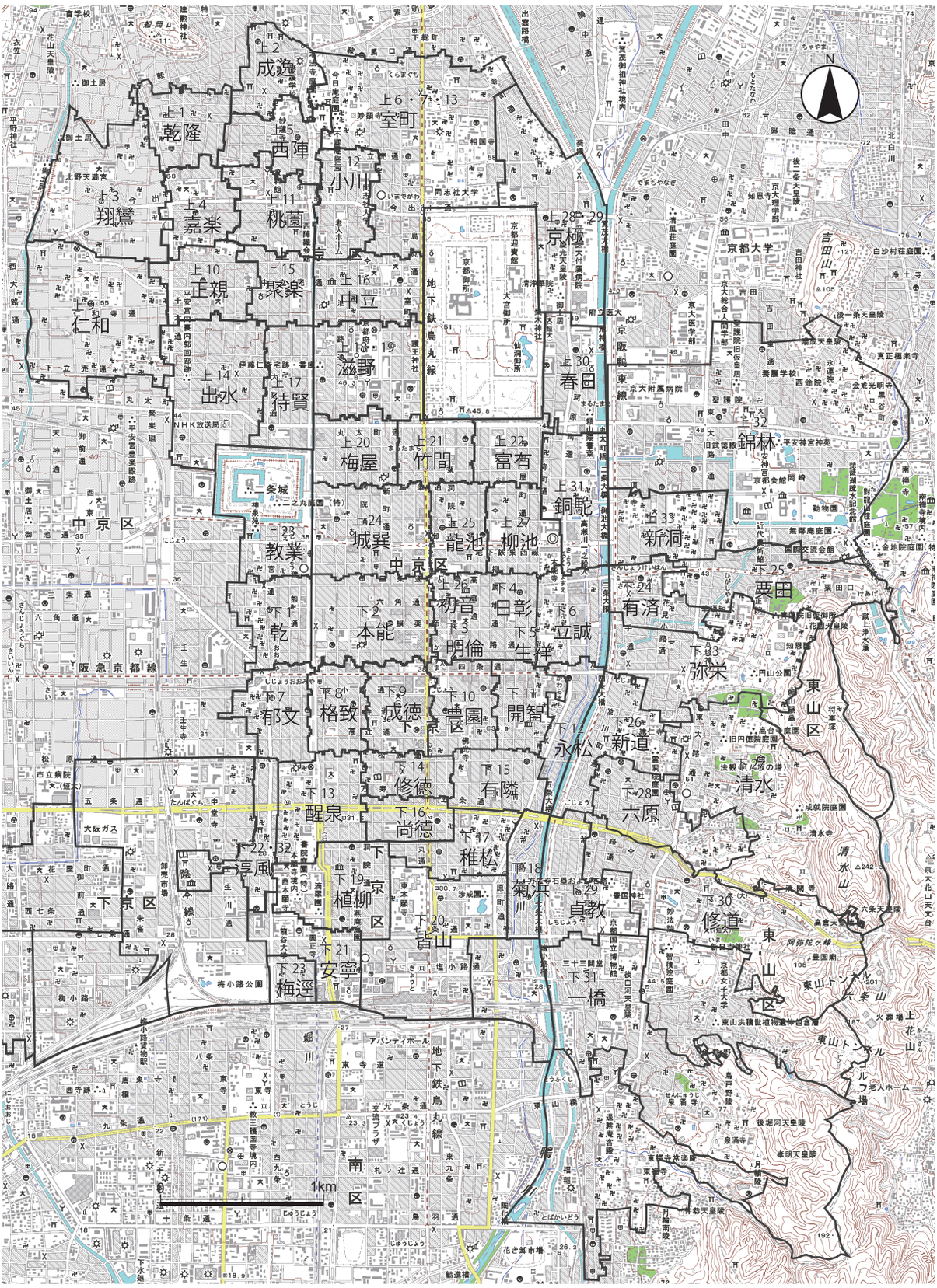
番組小学校とは

明治政府は、明治 5 年 (1872) の学制公布によって近代教育制度を推進しました。京都では、それに先立つ明治 2 年 (1869)、町衆たちの寄付等によって、地域の全ての子供たちが通う小学校が 64 校開校しています。室町時代からの町組をおよそ三条通りを境に北を「上京」、南を「下京」に分け、それぞれの町組には、「上京〇番組」、「下京〇番組」という番号が付与されました。その番組と呼ばれた当時の町組ごとに小学校が設置されたことから、番組小学校と呼ばれたのです。2019 年は、その番組小学校創設 150 周年にあたります。

番組小学校が設置されたのは京都の中心部、現在の上京区・中京区・下京区・東山区・左京区の一部の地域です。その後、少子化などの影響で統廃合が進み、その跡地は京都市学校歴史博物館 (下京第 11 番組小学校の開智校)、京都国際マンガミュージアム (上京第 25 番組小学校の龍池校)、漢字ミュージアム (下京第 33 番組小学校の弥栄校)、京都芸術センター (下京第 3 番組の明倫校) などに活用されています。また、元安寧小学校 (下京第 21 番組小学校、後に下京第 29 区小学校）のように、「下京・町衆倶楽部」など地域の拠点として、活用されているところもあります。

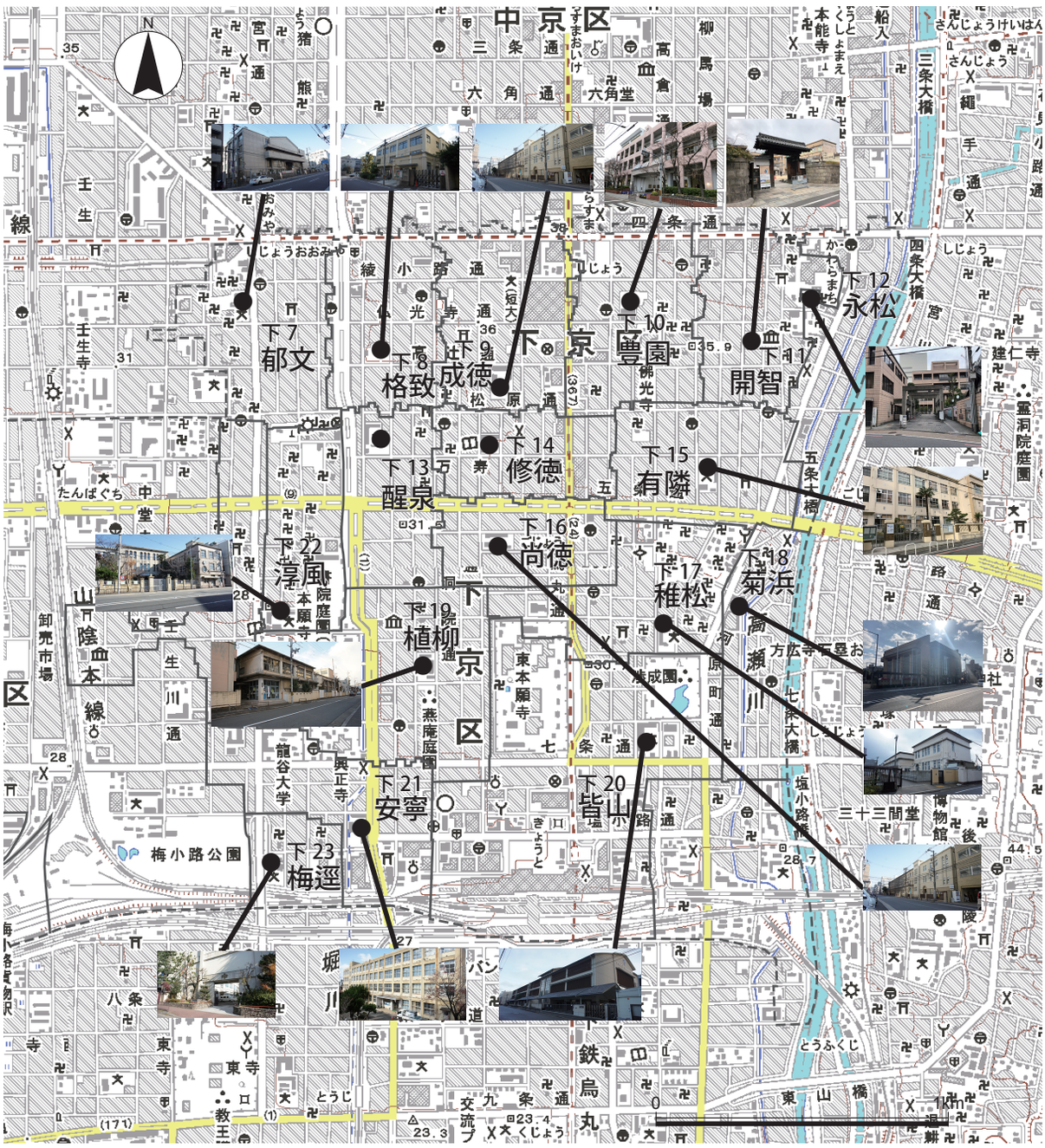
明治 2 年にはじまった京都市の小学校教育である番組小学校の系譜は、現在統廃合を繰り返し、今も残っています。150 年前、町衆たちの協力のもとで発足した 64 校の小学校は、現在では 160 校を超える学校につながっているのです。

京都市内の番組小学校



番組小学校の範囲（国土地理院２万５千分の１の数値地図を元に作成）

下京区の番組小学校



下京区の番組小学校（国土地理院２万５千分の１の数値地図を元に作成）

番組小学校（上京）

番組	学区名	所在地	後継の学区	特記事項
上京 1	乾隆（けんりゅう）	上京区寺之内通千本東入	乾隆小学校	
上京 2	成逸（せいいつ）	上京区堀川通寺之内上る	西陣中央小学校	
上京 3	翔鸞（しょうらん）	上京区御前通今出川上る	翔鸞小学校	
上京 4	嘉楽（からく）	上京区今出川通千本東入	嘉楽中学校	
上京 5	西陣（にしじん）	上京区上立売通堀川西入	西陣中央小学校	
上京 6・7・13	室町（むろまち）	上京区室町通上立売上る	室町小学校	
上京 8・9	仁和（にんな）	上京区御前通一条下る	仁和小学校	
上京 10	正親（せいしん）	上京区浄福寺通中立売下る	正親小学校	
上京 11	桃薗（とうえん）	上京区大宮通今出川上る	西陣中央小学校	
上京 12	小川（おがわ）	上京区油小路元誓願寺東入	新町小学校	
上京 14	出水（でみず）	上京区浄福寺通下立売下る	二条城北小学校	
上京 15	聚楽（じゅらく）	上京区葭屋町通中立売下る	西陣中央小学校	
上京 16	中立（ちゅうりつ）	上京区中立売通新町西入	新町小学校	
上京 17	待賢（たいけん）	上京区丸太町通黒門東入	二条城北小学校	
上京 18・19	滋野（しげの）	上京区西洞院通下立売下る	（滋野中学校）→京都御池中学校	平成 14 年（2002）閉校
上京 20	梅屋（うめや）	中京区釜座通丸太町上る	御所南小学校	京都第二赤十字病院
上京 21	竹間（ちっかん）	中京区間之町通竹屋町下る		こどもみらい館
上京 22	富有（ふゆう）	中京区柳馬場通夷川上る		御所南小学校
上京 23	教業（きょうぎょう）	中京区大宮通御池下る	洛中小学校	
上京 24	城巽（じょうそん）	中京区油小路通押小路下る	（城巽中学校）→京都御池中学校	
上京 25	龍池（たついけ）	中京区両替町通御池上る	御所南小学校	
上京 26	初音（はつね）	中京区東洞院通姉小路	（初音中学校）→京都御池中学校	京都万華鏡ミュージアム
上京 27	柳池（りゅうち）	中京区御池通富小路西入	（柳池中学校）→京都御池中学校	京都国際マンガミュージアム
上京 28・29	京極（きょうごく）	上京区寺町通石薬師下る	京極小学校	
上京 30	春日（かすが）	上京区丸太町通河原町西入	御所南小学校→御所東小学校	御所東小学校
上京 31	銅駝（どうだ）	中京区土田町通竹屋町下る	銅駝美術工芸高等学校	
上京 32	錦林（きんりん）	左京区岡崎入江町	錦林小学校	
上京 33	新洞（しんとう）	左京区新東洞院仁王門上る		

番組小学校（下京）

番組	学区名	所在地	後継の学区	特記事項
下京１	乾（いぬい）	中京区壬生坊城町	洛中小学校	
下京２	本能（ほんのう）	中京区蛸薬師通油小路東入	高倉小学校	
下京３	明倫（めいりん）	中京区室町通蛸薬師下る		京都芸術センター
下京４	日彰（にっしょう）	中京区高倉通六角下る		
下京５	生祥（せいしょう）	中京区富小路通六角下る		京都市教育委員会
下京６	立誠（りっせい）	中京区蛸薬師通河原町東入		
下京７	郁文（いくぶん）	下京区大宮通綾小路下る	（郁文中学校）→下京中学校	
下京８	格致（かくち）	下京区高辻通堀川東入	洛央小学校	
下京９	成徳（せいとく）	下京区高辻通室町西入	（成徳中学校）→下京中学校	
下京 10	豊園（ほうえん）	下京区仏光寺高倉西入	洛央小学校	
下京 11	開智（かいち）	下京区麩屋町通仏光寺下る		京都市学校歴史博物館
下京 12	永松（ながまつ）	下京区仏光寺通河原町西入		
下京 13	醒泉（せいせん）	下京区醒ヶ井通松原下る	下京雅小学校	
下京 14	修徳（しゅうとく）	下京区新町松原下る	洛央小学校	下京図書館
下京 15	有隣（ゆうりん）	下京区富小路五条上る		
下京 16	尚徳（しょうとく）	下京区楊梅通新町東入	（尚徳中学校）→下京中学校	
下京 17	稚松（わかまつ）	下京区若松町	下京渉成小学校	
下京 18	菊浜（きくはま）	下京区西木屋町通上ノ口上る		ひとまち交流館・京都
下京 19	植柳（しょくりゅう）	下京区西洞院通花屋町下る		
下京 20	皆山（かいざん）	下京区間之町七条上る	（皆山中学校）→下京中学校	
下京 21	安寧（あんねい）	下京区東堀川通木津屋橋下る	梅小路小学校	
下京 22・32	淳風（じゅんぷう）	下京区大宮通花屋町上る	下京雅小学校	
下京 23	梅逕（ばいけい）	下京区大宮通八条上る	（梅逕中学校）→下京中学校	
下京 24	有済（ゆうさい）	東山区大和大路通三条下る東入	開晴小・中学校	
下京 25	粟田（あわた）	東山区粟田口三条坊町		
下京 26	新道（しんみち）	東山区大和大路四条下る		
下京 27	清水（きよみず）	東山区清水二丁目		
下京 28	六原（ろくはら）	東山区松原通大和大路東入		
下京 29	貞教（ていきょう）	東山区鞘町正面下る		
下京 30	修道（しゅうどう）	東山区東大路通渋谷下る		
下京 31	一橋（いっきょう）	東山区本町通り 10 丁目	東山泉小・中学校	
下京 33	弥栄（やさか）	東山区四条通大和大路東入	開晴小・中学校	漢字ミュージアム

左京区

学校たんけん その1

いわくらみなみ
岩倉南小学校

岩倉南小学校は、昭和59年（1984）年、明徳小学校南分校として開校し、翌年には岩倉南小学校となりました。

岩倉南小学校では、木造校舎新築時に、廊下などに「みなみ民具コーナー」という展示スペースを設け、3年生の社会科の時間などに活用しています。学校収蔵民具の再発見事業実行委員会では、平成30年度事業の一つとして、一覧表の作成と写真撮影、キャプション製作などを行ないました。

展示のようす

展示のようす

上京区

学校たんけん その2

しょうらん
翔鸞小学校

翔鸞小学校は、明治2年（1869）に作られた番組小学校の一つで、上京第3番組小学校として開校しました。

郷土室は、3年前に北校舎から移転した際にきれいに作り直されました。部屋の奥には、衣食住の道具が民家風に展示してあり、昔のくらし学習で利用できるようになっています。また、高機が並べられており、授業などで児童が作品を製作しています。高機の管理や機織りの指導は地域の方が行なっており、学校と地域が連携して活用されています。

翔鸞小学校

展示のようす

中京区

学校たんけん その3

御所南（ごしょみなみ）小学校

御所南小学校は、平成７年（1995）に番組小学校である竹間、富有、梅屋、龍池、春日の５校が統合して開校しました。現在の小学校は、富有小学校の跡地に建てられています。

御所南小学校収蔵の生活資料は、統合された５校に収蔵されていたものの中から、タンスや火鉢、扇風機、洗濯板などの衣食住に関するもの、唐箕などの農業に関するものなどが２階の一角に展示してあります。

御所南小学校

展示のようす

下京区

学校たんけん その4

洛央（らくおう）小学校

洛央小学校は、平成４年（1992）に番組小学校である格致、修徳、豊園、開智、有隣の５校が統合して開校しました。現在の小学校は、下京第10番組小学校である豊園小学校の跡地に建てられています。

保管されている生活資料は60点以上ありました。衣食住に関するもの、商業関係のもの、昭和20年代に臨海学習で使用したラッパや考古遺物である土器や埴輪の複製品など、学校の備品や教材も保管されていました。校内には各小学校ごとに思い出のコーナーとしてガラスケースに展示されている資料もあります。

洛央小学校

展示のようす

下京区

学校たんけん その5

安寧（あんねい）小学校

安寧小学校は、明治２年（1869）に下京第 21 番組小学校として創立された小学校です。平成８年（1996）には大内小学校と統合し、現在は梅小路小学校となっています。安寧学区の歴史資料や生活資料が収められた資料室づくりは、昭和 62 年（1987）頃に始められました。当時の自治連合会長の西川千大氏が中心となり、骨董品ではなく生活の匂いのするものを集められました。現在も元安寧小学校として校舎は残り、その中に「安寧資料室」があります。

その資料をもとに、平成 30 年には下京区総合庁舎で「安寧小学校のたからもの」展を開催しました。

安寧小学校のたからもの展

下京区

学校たんけん その6

光徳（こうとく）小学校

光徳小学校は、大正 14 年（1925）、下京区中堂寺坊城町に大内第二尋常小学校として創立され、昭和 23 年（1948）京都市立光徳小学校となり、現在に至ります。

光徳小学校

創立 50 周年の昭和 50 年（1975）には、郷土資料室が開設されました。その後、校舎が建て替えられたものの、現在もその資料が引き継がれています。展示品としては、学区内で発掘された考古遺物や民具資料、また、六斎念仏関係の資料など、地域の歴史を学習する上ではかかせない資料が残されています。

展示のようす

下京区

学校たんけん その7

西大路小学校（にしおおじ）

西大路小学校は下京区七条御所ノ内西町に、昭和42年（1967）に創立されました。

展示資料は、三ツ鍬、除草機、千歯扱、唐箕などの農具や、箕、ザル、フルイ、一斗枡、蓄音機、柱時計、ミシン、手回し洗濯機などにいたる生活に用いたものがそろっています。

また、平成２年に西大路少年補導委員会から寄贈された「西大路子供みこし」というお神輿もあります。現在では、小学校行事の際に子供たちがお神輿をかついで学区内を回るそうです。

西大路小学校

展示のようす

南区

学校たんけん その8

上鳥羽小学校（かみとば）

上鳥羽小学校は明治５年(1872)、南区上鳥羽上ノ町に開校しました。その後､明治27年（1894）には、現在地の上鳥羽城ヶ前町に移転しました。今年で創立147周年となります。

郷土資料室に入ってまず目に入るのは船です。高瀬川の水運で使用したそうです。また、近くにある城南宮の神輿も保管されています。そのほかに、唐箕、脱穀機などの農具を中心に、昭和17年（1942）の上鳥羽消防団の消防ポンプや上鳥羽六斎念仏の太鼓なども収蔵されていました。

展示のようす

城南宮の祭り神輿

南区

学校たんけん
その9

おおやぶ
大藪小学校

大藪小学校は明治６年(1873)、南区久世大藪町に開校しました。現在では創立146周年をむかえます。

大藪小学校が所蔵する生活資料は、羽釜、おひつ、火鉢などの衣食住資料から、除草機、唐箕、脱穀機などの農具などが多くありました。また、久世消防団の消防ポンプも保管されています。

大藪小学校

展示のようす

山科区

学校たんけん
その１０

さんかい
山階小学校

山階小学校は明治５年(1872)、山科区西野大手先町で開校し、現在では創立147周年をむかえます。

平成30年度、当委員会では山階小学校が所蔵する生活資料の一覧表作成と写真撮影を行ないました。収蔵資料は、北校舎に２部屋、南校舎の郷土資料室に１部屋の合計３室にあり、総数は200点以上にのぼります。衣食住の生活資料のほか、学校で使用した地図や考古資料の複製品などの教材や、農具なども多く収蔵されていました。

展示のようす

展示のようす

学校民具の活用

今年度、京都造形芸術大学歴史遺産学科２年生の授業の一環として、岩倉南小学校の民具コーナーの展示整備を行いました。岩倉南小学校では、木造校舎新築時に、廊下などに「みなみ民具コーナー」という展示スペースを設け、３年生の社会科の時間などに活用しています。授業では、収集に関わった地域の方々に学校までお越しいただき、資料についてのお話を伺うという取り組みもされています。

そこで、よりよく児童に民具のことを知ってもらうため、①民具のよごれを払い、②目録化をし、③使用目的ごとに並び替え、④名前がよくわかるようにキャプション（題箋）を作成、設置しました。②の目録化というのは、名称、使用目的、使用方法を調べ、画像をつけて一覧表にまとめるというものです。一覧表には、民具にとって大切な、その地域での呼び名も記入しました。また④のキャプションは、名称のみとしました。これは、児童自らが調べる「調べ学習」を目的としたものです。

今回の民具展示作業は学生たちにとって、実物の資料を扱うことのできるよい実践だったと思います。目録を作成するにあたり、名称や使用方法については、民具収集に関わり、授業で児童たちにこれらの民具のことをお話されている地元の方にご指導を賜りました。このような機会をいただきました岩倉南小学校様と合わせまして、お礼申し上げます。

民具のクリーニング作業

キャプションをつける

完成状況

３．資料

展示チラシ

本事業は、平成 30 年度文化芸術振興費補助金（文化遺産総合活用推進事業）の
助成をうけて実施する「京都の文化遺産総合活用推進事業」の一部です。
翔鸞小学校
御所南小学校
洛央小学校
京都市の小学校が
伝える生活資料
大藪小学校
上鳥羽小学校
山階小学校
2019年
3月2日（土）～10日（日）
午前8時～午後9時
ゼスト御池 寺町広場（京都市役所駅下車すぐ）
入場無料
主催：学校収蔵民具の再発見事業実行委員会
協力：京都造形芸術大学　日本庭園・歴史遺産研究センター
京都市文化市民局文化財保護課
【展示についての問い合わせ先】
TEL　075－791－9287　　平日 9:00～17:00
（京都造形芸術大学歴史遺産学科　伊達研究室）
メール minggakko@gmail.com

京都市の小学校が伝える生活資料

明治政府は、明治５年（1872）の学制公布によって、近代教育制度を推進しました。京都では、それに先立つ明治２年（1869）、町衆たちの寄付等によって、地域の全ての子供たちが通う小学校が64校開校しています。室町時代からの町組をおよそ三条通りを境に北を「上京」、南を「下京」に分け、それぞれの町組には、「上京〇番組」、「下京〇番組」という番号が付与されました。その番組と呼ばれた町組ごとに小学校が設置されたことから、番組小学校と呼ばれたのです。2019 年は、その番組小学校創設 150 周年にあたります。

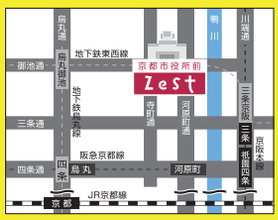
番組小学校が設置されたのは京都の中心部、現在の上京区・中京区・下京区・東山区・左京区の一部の地域です。その後、少子化などの影響で統廃合が進み、その跡地は、京都市学校歴史博物館（下京第 11 番組小学校の開智校）、京都国際マンガミュージアム（上京第 25 番組小学校の龍池校）、漢字ミュージアム（下京第 33 番組小学校の弥栄校）などに活用されています。150 年前、町衆たちの協力のもとで発足した 64 校の小学校は、現在では 160 校を超える学校につながっているのです。

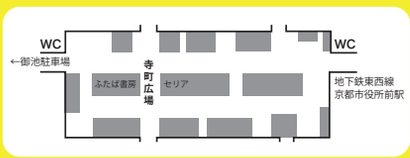
その約 160 校の小学校に対し、民具の収蔵の有無や授業での活用、収蔵状況など、多岐にわたる視点からアンケートを実施しました。全校から回答を得たわけではありませんが、多くの小学校が民具を収蔵し、授業で活用されていることがわかりました。また、収蔵状況の改善や、資料整理、リストの作成などの協力も希望されています。

今回のパネル展では、明治以来の伝統の中で京都市内の小学校がそれぞれで民具をはじめとする歴史資料を収集し、保存し、展示されてきたこと、さらには教科教育のなかで活用されてきた状況などをさまざまな視点から紹介します。

ゼスト御池 寺町広場

●お車でお越しのお客様
約750台駐車可能な御池地下駐車場へ
早朝6:00～24:00まで、平日(日・祝除く終日)なら
1日3時間以上が一律1,500円
●電車でお越しのお客様
地下鉄東西線：「京都市役所前」駅下車
改札を出てすぐ
●バスでお越しのお客様
市バス：「京都市役所前」下車すぐ
土・日曜日は11時～18時の間、10分間隔で
100円バスが循環





関連展示

下京区の小学校が伝える生活資料

2019 年 3 月 4 日 (月)
～14 日 (木)

下京総合庁舎玄関ロビー
午前 8 時 30 分から午後 5 時
（土日休）
（初日は 13 時開場、最終日は 16 時まで）

入場無料

この町と、　これからも。
この町と、　いつまでも。
140th
下京区誕生140周年

下京区総合庁舎玄関ロビー

〒600-8588
京都市下京区西洞院通塩小路上る東塩小路町608番地の8
TEL　075－371－7163（下京区役所地域力推進室）
■電車　地下鉄烏丸線・JR 各線・近鉄京都線「京都駅」下車徒歩 5 分
■バス　京都市バス「下京区総合庁舎前」下車すぐ

西大路小学校

洛央小学校

光徳小学校

下京区の小学校が伝える生活資料

明治政府は、明治５年(1872)の学制公布によって、近代教育制度を推進しました。京都では、それに先立つ明治２年（1869)、町衆たちの寄付等によって、地域の全ての子供たちが通う小学校が 64 校開校しています。室町時代からの町組をおよそ三条通りを境に北を「上京」、南を「下京」に分け、それぞれの町組には、「上京〇番組」、「下京〇番組」という番号が付与されました。その番組と呼ばれた町組ごとに小学校が設置されたことから、番組小学校と呼ばれたのです。2019 年は、その番組小学校創設 150 周年にあたります。

番組小学校が設置されたのは京都の中心部、現在の上京区・中京区・下京区・東山区・左京区の一部の地域です。その後、少子化などの影響で統廃合が進み、その跡地は、京都市学校歴史博物館（下京第 11 番組小学校の開智校)、京都国際マンガミュージアム（上京第 25 番組小学校の龍池校)、漢字ミュージアム（下京第 33 番組小学校の弥栄校）などに活用されています。150 年前、町衆たちの協力のもとで発足した 64 校の小学校は、現在では 160 校を超える学校につながっているのです。

その約 160 校の小学校に対し、民具の収蔵の有無や授業での活用、収蔵状況など、多岐にわたる視点からアンケートを実施しました。全校から回答を得たわけではありませんが、多くの小学校が民具を収蔵し、授業で活用されていることがわかりました。また、収蔵状況の改善や、資料整理、リストの作成などの協力も希望されています。

今回のパネル展では、明治以来の伝統の中で下京区内の小学校がそれぞれで民具をはじめとする歴史資料を収集し、保存し、展示されてきたこと、さらには教科教育のなかで活用されてきた状況などをさまざまな視点から紹介します。

主催：学校収蔵民具の再発見事業実行委員会
協力：京都造形芸術大学　日本庭園・歴史遺産研究センター
　　下京区役所地域力推進室
　　京都市文化市民局文化財保護課

【問い合わせ先】
展示について　TEL　075－791－9287　　平日 9:00～17:00
（京都造形芸術大学歴史遺産学科　伊達研究室）
メール minggakko@gmail.com

関連展示
京都市の小学校が伝える生活資料
平成 31 年３月２日 (土)～10 日 (日)
ゼスト御池 寺町広場
午前８時から午後９時　　入場無料

展示の記録

1．「京都市の小学校が伝える生活資料」展

〔展示概要〕

名称　平成 30 年度文化芸術振興費補助金（文化遺産総合活用推進事業）

京都市の小学校が伝える生活資料

会期　平成 31 年 3 月 2 日（土）～ 3 月 10 日（日）　9 日間

平日 8:00 ～ 21:00

場所　ゼスト御池 寺町広場

主催　学校収蔵民具の再発見事業実行委員会

協力　京都造形芸術大学 日本庭園・歴史遺産研究センター

京都市文化市民局文化財保護課

「京都市の小学校が伝える生活資料」展　展示風景

2.「下京区の小学校が伝える生活資料」展

〔展示概要〕

名称　平成 30 年度文化芸術振興費補助金（文化遺産総合活用推進事業）

下京区 140 周年

下京区の小学校が伝える生活資料

会期　平成 31 年 3 月 4 日（火）～ 3 月 14 日（木）　9 日間

平日 8:30 ～ 17:00　土日は休み

初日は 13:00 開場、最終日 16:00 閉場

場所　下京区総合庁舎玄関ロビー

主催　学校収蔵民具の再発見事業実行委員会

協力　京都造形芸術大学 日本庭園・歴史遺産研究センター

下京区役所地域力推進室

京都市文化市民局文化財保護課

「下京区の小学校が伝える生活資料」展　展示風景

３．アンケート調査

ゼスト御池展示会場における「京都市の小学校が伝える生活資料」展においては、会場でアンケートを実施しました。

１．性別と年齢

	男性	女性	未回答	総計
小学生	0	4	0	4
中学生	0	0	0	0
高校生	0	0	0	0
大学生	0	0	0	0
20 歳代	2	1	0	3
30 歳代	3	1	0	4
40 歳代	2	2	0	4
50 歳代	3	2	0	5
60 歳代	6	2	1	9
70 歳以上	4	4	0	8
未回答			1	1
総計	20	16	2	38

２．お住まい

都道府県		男性	女性	未回答	総計
京都市内	上京区	4	1	0	5
	左京区	0	2	1	3
	中京区	2	6	0	8
	右京区	1	1	0	2
	西京区	2	0	0	2
	山科区	3	2	0	5
	下京区	2	0	0	2
	南区	3	0	0	3
	伏見区	2	1	0	3
	京都市内	1	0	0	1
京都市外	滋賀県	0	1	0	1
	奈良県	0	1	0	1
	大阪府	0	1	0	1
未回答		0	0	1	1
	総計	20	16	2	38

３．感想

	男性	女性	未回答	総計
たいへん興味深かった	6	9	0	15
興味深かった	12	6	1	19
特に興味を感じなかった	1	0	0	1
よくなかった	1	0	0	1
（空白）	0	1	1	2
総計	20	16	2	38

自由記入欄

・母校（安寧小）をはじめ、生活道具の移り変りを皆さんにお見せする常設展をぜひ実現してください。
・入学 S18 年 4 月安井国民学校、卒業 S24 年 3 月安井小学校
・番組小のマップがおもしろかったです。番組小の表で、現在の小学校校区を示す所と現在のしせつ（中学校の校舎含む）の分け方がはっきりしていないと思いました。
御所東小（春日小）が抜けています。あらさがしですいません。
・学校の資料が多く収蔵されているにもかかわらず、あまり活用されていないよう。3 年だけでなく 4、5 年の活用もほしいところ。6 年では、江戸時代の農具の発達学習で実物を見せてやってほしい。各校に共通する資料の説明等の冊子の作成をお願いしたい。各学年での活用例もあればベターである。
・よくわからなかった
・人間は区分けをしたがる、必要とする生物だと再認識しました。勉強になります。ありがとうございます。
・各々の小学校に立ち寄って実際に見てみたいと思いました。
茶道具や裁縫道具などは保存され易いのでしょうか。
現在においても利便性の高い物は型を変えずに活用出来るんですね。板張りや畳のお部屋に愛着が湧きました。
・民具がより見やすい写真があるとよかった。
・京都の町の小学校はなつかしかったです。
・山階小学校は椥辻駅から遠回りしてから通過します。
・昔なつかしいです
・京都市はホテルに学校を売らないで下さい。市民の財産です。勝手にしないで。
・全国にさきがけて、ほぼ京都市民の手で学校を作ったことに誇りに思う。
・もう少し詳しい印刷物資料があれば良いと思いました。
・もう少し写真があればいいと思った。
・自分が子供の頃は、教科書にのっている民具を実際は使ったことがある世代がまだ生きていたが、年々その方々も少なくなってきている。教員も「どのように使うか、よく分からない」というケースも多いのではないか。学校教育をとりまく現状もかわっていく中、どのように活用できるかを再考する時期なのだと思う。
・説明文字がやや小さく、読みづらいところもありましたが、全体に興味がありました。私宅に保存されている古いものも学区内の小学校で保存展示したらより多くの人の関心をよぶと思いますが、いかがでしょうか。
・今後、できれば民具の写真と実物の展示、使い方の実演等あればよりよいものになると思われます。
・小学生が作った感じがない。小学生の工夫がほしい。大人がやりすぎ。
・母校の小学校が回答なしであった。返事ぐらいせえ！と思いました。どこかで深掘りされたら。
・おもしろいし、もっと見たいと思いました。小冊子にして売ってほしいです。
・子どもたちが学校民具がそばにあり、見ることによって昔の生活や歴史を実感することは大切だと思いました。
・番組小学校マチガッテイマス（備考欄）　上 25
タツイケ　コチラマンガ…です。
・とてもきょう味をかんじました。
・意図が不明確で何を伝えたいのか、もうひとつわかりづらい。
・わたしはごしょみなみ小学校ですが、いろいろな小学校があってよかったです。
・自分の大学の卒論が「番組小学校」がテーマだったので思わず足をとめました。このような生活資料が収蔵されていることを大変興味深く拝見しました。
・たくさんの小学校があり、とてもきょう味をもちました。
・楽しかった！

４．小学校の生活資料について、何かご存知でしたらお聞かせください

・昭和の道具展、生活博物館等ぜひ常設展を検討して下さい。ありがとうございました。
・敗戦後、4 年次より「ララ物資」脱脂粉乳、米国の牛、豚のエサ、「ナンバン粉」のパン、クジラの脂身、黄色のおつゆ（今ではクジラは食べません）、イモヅル、イナゴ　食料の思い出だけです。
・天気の日　鉄棒　ドッチボール、雨降　まりつき　お手玉
・音羽小のふるさとルームは山科区のさまざまな展示があり、とてもおもしろいです。
・校舎の建替えなどもあり、資料がどのように保存となったか定かではありません。
・早くから工場地域化したので、民具はみたことがない。青い目の人形なら。
・この近辺の小学校にはくわしくなかったので、京都の小学校に関する内容になつかしかったです。ありがとうございました。
・西野小学 OB で●●に同じで、少子化に入っています。
・構内に入れないので、有る無しがわかりません。学校の催しなどの際に見学出来る様にして欲しいと思います。
・特になし
・学区にも、生活資料がいくつか展示されています。
・私の卒業した小中学校は統合によりなくなりましたが、昔の街中の写真とかが集められたらと思います。花脊山の家には多くの生活資料が展示してありました。小学校ではありませんが、京都市立中京もえぎ幼稚園にも展示室がありました。
・朱二小学校
・御所南でうれしかったです。
・生活資料と言えるかわからないが、学校、地域の歴史に関するものは保管されていたように思う（有隣小学校）
・りゅうち学区でごしょみなみのことがかいててうれしかった。
・わたしはりゅう池で御所南には 7 つの学校を組み合わせ、去年の 4 月に春日どうだがっくは御所東となりました。

５．アンケートの結果から

9 日間という短い展示期間でしたが、38 通の回答をいただきました。「たいへん興味深かった」「興味深かった」とお答えいただいた方が約 90％となっており、概ね好評であったといえます。

好意的なご意見として、「民具の写真をもっと見たい」「小冊子にして売ってほしい」という声がありました。一方で、「解説文字がやや小さく読みづらい」「わからなかった」とのご意見もあり、今後の展示において改善すべき課題が明確となりました。

これからの当委員会の展示活動の課題として、大人も子どもも展示を見て民具に対する対話ができるようなわかりやすい展示を目指していきたいと思います。

学校収蔵民具の再発見事業実行委員会　規約

（名称及び目的）

第１条　本会は学校収蔵民具の再発見事業実行委員会（以下「実行委員会」という。）と称し、京都市内の市立小学校が収集し保管、活用してきた地域の文化遺産である民具に焦点を当て、その再発見を目的とした諸活動に取り組み、学校と地域の絆を深め、地域固有の文化を掘り起こした地域活性化につなげることを目的とする。

（事業）

第２条　本会は前条の目的を達成するため、次に掲げる事業を行う。

（１）　学校収蔵民具の紹介展および講演会の企画、設営、運営

（２）　学校収蔵民具の紹介をするリーフレットの発行、配布

（３）　学校収蔵民具の活用を通じた地域活性化のプランの研究、提示

（役員）

第３条　本会に次の役員を置く。

委 員 長　　１名

副委員長　　１名

会　　計　　１名

２　前項の役員は、互選によって選出する。

（役員の任務）

第４条　委員長は、本会を代表し、会務を総括する。

２　副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるとき又は委員長が欠けたときは、副委員長がその職務を代理する。

３　会計は、経理を担当する。

（役員の任期）

第５条　役員の任期は、一年間とする。ただし再任を妨げない。

（会議の招集）

第６条　本会の会議は、委員長が招集し会議の議長となる。

２　会議の議決は、出席者の過半数の同意をもって決定する。

３　会議は、議決した事業方針に基づく事業の執行に関すること及びその他の会務に関する事項を決定する。

(会計年度)

第８条　本会の会計年度は、４月１日より３月３１日までとする。

附　則

この規約は、平成２８年１２月１日から施行する。

この規約は、平成３０年５月１日から施行する。

学校収蔵民具の再発見事業実行委員会　役員名簿

委 員 長	用田　政晴	滋賀県立琵琶湖博物館名誉学芸員
副委員長	小川　豊子	元京都市立小学校教員
会　　計	溝邊　悠介	奈良県立民俗博物館主任学芸員

―展示スタッフ―

企画・運営　用田 政晴　滋賀県立琵琶湖博物館名誉学芸員

小川 豊子　元京都市立小学校教員

○伊達 仁美　京都造形芸術大学歴史遺産学科教授

奥村 晃代　京都造形芸術大学非常勤講師

辻川 智代　滋賀県立琵琶湖博物館特別研究員

関野 遊子　京都造形芸術大学歴史遺産研究センター

○はリーダー

展示協力　京都造形芸術大学大学院

今村 栞　佐々木 麻衣　鮫島 早葵

京都造形芸術大学芸術学部歴史遺産学科

甲斐 晴菜　酒井 陽加　久保 怜奈　二宮 梨菜

デザイン　辻川 智代

学校収蔵民具の再発見事業 II

編集　学校収蔵民具の再発見事業実行委員会

発行　学校収蔵民具の再発見事業実行委員会

〒606-8271　京都市左京区北白川瓜生山２－１１６

（京都造形芸術大学歴史遺産学科　伊達研究室）

発行日　平成 31 年 3 月 18 日

印刷製本　あおぞら印刷

平成 30 年度文化芸術振興費補助金（文化遺産総合活用推進事業）
京都の文化遺産総合活用推進事業
情報発信事業・普及啓発事業「学校収蔵民具の再発見事業」

文化庁
Agency for Cultural Affairs, Government of Japan

学校収蔵民具の再発見事業実行委員会